

はっ こうがくえんだより



〒030-0132 青森県青森市大字横内字桜峰63番地1号
お問い合わせ：TEL 017-738-2104
FAX 017-738-2116

題字：あみき (阿部みきさん)

令和6年度八甲学園なつまつり開催



照りつける日差しに夏の本番を感じさせる7月20日(土)、今年も八甲学園なつまつりを開催いたしました。

体育館では、この日のために練習してきた歌や踊りがステージで披露されました。夏の暑さに負けない熱気で行われるパフォーマンスに会場は大盛り上がり！ステージ乱入などのハプニング(笑)も含めて、参加者や観覧者全員が笑顔で楽しんで時間を過ごしました。

屋台コーナーの中庭ではたこやきや、やきそば等の模擬店が並び、屋台の味を楽しんでいます。事前アンケートを基に、昨年よりも更に種類を増やしたドリンクやかき氷の屋台では、どれにしようか迷ったり、複数回並ぶ利用者さんの姿も見られました。それら屋台の中でも一番人気は、今年も出店していただいた山さんの屋台で、絶品ラーメンに皆さん夢中でした。

お忙しい中來園して下さった来賓の皆様、運営の準備を手伝っていただいたボランティアの皆さんには厚く御礼を申し上げます。

来年は、今年以上に楽しめるなつまつりにしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

こども支援課 支援員 千葉 正之

生活介護事業所はっこう「開所日」

地域支援第一課 支援員 小田切 奈々

8月31日(土)の開所日では、A・B・Cグループそれぞれが企画したレクリエーション活動を行いました。

A・Bグループは調理活動とゲーム活動、Cグループは外出活動でマクドナルドへ行きました。

A・Bグループ各々で調理活動を行い、ゲーム活動では2グループ合同で、実習に来ていた学生さんが企画してくれた「収穫ゲーム」を実施しました。内容は、2名ずつカゴを持ってスタートし、人參・スイカ・リンゴを収穫し、指定された場所に仕分けしてゴールするというものです。ゲーム中は「頑張れー」「上手だよー」と応援の声や笑顔が溢れていました。

Aグループの利用者さんの中には、普段と少し違ったゲームが新鮮だったようで「あんなゲーム、またやりたいなあ」という声も聞かれました。今後も利用者さんが楽しめる開所日になるように楽しい企画を考えていきます。



「土砂災害等防災訓練」

総務課 総務企画監 柴田 君仁

9月30日(月)に「八甲学園土砂災害等防災訓練」を実施しました。この訓練は、近年、激甚化する豪雨災害等に対して、入所児童や通所利用者さんが避難場所である青森公立大学体育館へ避難する訓練となります。今回は事前に、防災担当職員が集まり、机上にて訓練のシミュレーションを実施して、避難計画について再度検討しました。

実地訓練は、あいにくの晴天?でしたが、机上訓練の甲斐もあり、利用者さんや職員は、避難放送を落ち着いて聞き、慌てないで青森公立大学体育館まで避難することができました。これからも入所児童や通所利用者さんの安全を確保できるように訓練を実施し、災害に備えていきます。



苦情解決

令和6年度苦情申出状況
・サービスの質や量
(食事内容、サービス提供に関する不満)
利用者との人間関係など
.....0件
・職員の対応(態度、言葉遣い等)
.....0件
その他
.....0件
合計.....0件

令和6年度9月までの苦情解決申出は0件でした。利用者の方から寄せられた苦情については、適切な対応により、その解決にあたります。苦情及びその解決については、個人の情報にするものや申込者が拒否した場合を除き公表し、八甲学園の改善に努めます。

編集後記

令和6年度第2回目の広報誌を発行することができました。今後も利用者のニーズに応じたサービスを展開して参ります。ご協力のおかげです。よろしくお願いいたします。今回の題字は、阿部みきさんです。

※掲載されている写真はすべて、ご本人・保護者様の了解を得ております。



人事異動

退職者

こども支援課 支援員 斎藤 智恵美
地域支援第一課 支援員 山本 もとこ
地域支援第二課 支援員 鎌田 聖一
地域支援第三課 支援員 伊丸岡 真紀
地域支援第一課 支援員 須藤 慎一郎
地域支援第一課 世話人 竹内 芳治

新採用者

総務課 事務員 飯田 奈緒美
こども支援課 支援員 木立 清孝
地域支援第一課 支援員 佐々木 健太
地域支援第二課 支援員 佐々木 高信
地域支援第三課 支援員 小倉 人栄
地域支援第一課 世話人 高橋 浩史
地域支援第一課 世話人 竹内 千代子
地域支援第一課 世話人 齋藤 弘之

「こども支援課 夏休みの行事・イベント」



こども支援課 支援員 千葉 正之
入所では児童に夏休みを楽しく過ごしてもらつたため、様々な行事を企画し実施しています。浪岡「あびぬす」への外出では真夏の雪体験イベントに参加し、「寒ーい」と笑いながらまくらや雪だるまと一緒に写真を撮るという盛りだくさんなイベントも開催されました。また、園内行事でもバーベキュー、すいか割り、流しそうめん等、季節感のあるイベントを様々な用意しました。バーベキューでの食材準備から火起こし等の体験は初めてだった児童も多く、肉や野菜、マッシュマロをキラキラと輝いた目で焼いている姿が印象的でした。毎年恒例のスイカ割りも、参加児童は全員本気！応援する職員も思わず熱が入ってしまいます。その後よく冷えたスイカを皆笑顔で頬張りました。
今後様々な体験を積み上げて成長の糧とできるよう、思い出に残るような時間を作っていきます。



「就労継続支援B型事業所はっこう アウフクマルシェ2024」



地域支援第二課 支援員 工藤 友紀
9月8日(日)、サンロード青森にて「アウフクマルシェ2024」が開催されました。「アウフクマルシェ」とは、農福連携マルシェの通称で、青森県が主催し、当事業所が事業を受託し運営しています。農業・林業・水産業の分野での障害者の就労を支援し、工賃の向上を図るとともに地域における障害者の活躍の場の拡大を実現することを目的としています。

今年度は、9月8日(日)と11月9日(土)、10日(日)の3日間開催する予定としており、1回目である9月8日(日)は東青地域の就労継続支援B型事業所4団体に参加いただきました。各事業所がそれぞれ心をこめて生産している商品を販売しており、たくさんのお客様にも来場していただくことができました。販売されていた商品は、新鮮な野菜をはじめ、焼き芋、カシスソース、ドリップコーヒー、焼き菓子、手芸用品等多岐にわたり、見ているだけでも楽しめました。当事業所でも、法人内事業所で生産した椎茸と米を使用した炊き込みご飯を販売し、おかげ様で大好評でした。

次回は11月9日(土)、10日(日)に同じくサンロード青森で開催予定です。皆さまのご来場をお待ちしております。



「生活介護事業所はっこう 青森県障害者スポーツ大会」

地域支援第一課 支援員

秋元 早紀

8月25日(日)と9月15日(日)に生活介護事業所はっこうを代表する利用者さんが青森県障害者スポーツ大会に参加しました。

8月は新青森県運動公園で、陸上競技とフライングディスクが行われ、暑い中皆さん張り切って競技に参加しました。本番前からたくさん練習を行ってきたこともあり、陸上競技では、金メダル獲得！フライングディスクでは、強いグループの中で奮闘しながら5ポイントを獲得して4位という結果でした！

9月はアオモリボウルで、ボウリング競技が行われました。なかなか練習をする機会がなかったのですが、本番前の投球練習の際に審判員の方から投げ方のアドバイスをして頂き、徐々に緊張がほぐれた様子でした。本番ではたくさんピンを倒し、見事全員がメダルを獲得することが出来ました。
また来年度も楽しく参加できればと思っています。



「共同生活援助事業所 サンハウス」防災訓練

地域支援第一課 支援員

小川 佳子

共同生活援助事業所サンハウスでは、地震等の大規模災害、火災を想定した防災訓練をグループホーム毎に年2回実施しています。大規模災害時の訓練は、地域の指定避難場所まで避難経路の確認をしながら実際に移動します。火災時の訓練は近隣住民のご理解と防災機器業者のご協力をいただき、実際に警報を鳴らして利用者さんや世話人が119番に通報するという非常時さながらの訓練を行っています。利用者さんに防災訓練実施のお知らせをすると「えー！またやるの」と言いながらも、いざ訓練となると皆さんで声を掛け合って行動し、消火・通報訓練に真剣に取り組み、とても頼もしい姿が見られました。来年度からは風水害時の訓練も行つので、利用者さんが安心して地域で生活できるように災害があつた時に少しでも落ち着いて行動できるように、防災の面からもしっかり支援していきます。



「相談支援事業所あおば」

管理者兼相談支援専門員

工藤 摩世

相談支援事業所あおばでは、令和6年8月、9月にかけて、2名の大学生のソーシャルワーク実習を受け入れました。約1か月の実習期間は、長く感じましたが、始まってしまえば、あっという間に過ぎていきました。一生懸命に取り組む実習生に引張られ、職員も一緒に試行錯誤しながらの1か月間でした。福祉の仕事の楽しさ、難しさ、達成感などなど少しでも感じていただける機会になればと思つて受け入れた実習でしたが、自分自身の学び直しや振り返りに繋がった充実した期間となりました。

ソーシャルワーク実習期間中、実習生と一緒に面談を快く了解してくださった利用者の皆様、ご家族の皆様、訪問させていただいた放課後等デイサービスや児童発達支援、就労継続支援事業所の皆様、お忙しい中実習生への説明等々対応していただき、ありがとうございました。皆様のご協力があり、実習がより充実した内容となりました。実習生からは「楽しかった。福祉の仕事をしてみたいと思った」という感想と笑顔がありました。機会がありましたら、引き続き実習生を受け入れていきたいと考えています。